



中野区居住支援協議会通信

第14号

総会を開催しました（令和7年3月25日）

令和6年度総会を開催しました。中野区居住支援協議会が発足して4年が経ち、事業運営部会を中心とした勉強会や大家さん向けセミナーの開催、ホームページやガイドブック発行等の各活動が軌道に乗ってきており、各関係機関の連携も進んでいるようだといった感想が各委員から聞かれました。

令和7年度の事業計画では、これまでの活動をベースに、居住支援の取り組みをより推進していくことを確認しました。



会員等からの情報提供

生活援護課 より 

生活困窮者の支援として、住居確保給付金の制度があります。これまでの家賃補助に加え、令和7年度から転居費用の補助等も行う予定です。

子ども若者相談課より 

令和6年9月から社会的養護経験者（児童養護施設退所者等）への支援を実施しています。居住支援の部分では、居住支援法人と連携して居住に関する相談、斡旋、契約締結の補助を行う他、令和7年4月からは居住費の助成も実施予定です。

なかの居住支援ガイドを発行しました

なかの居住支援ガイド（令和6年度版）を発行しました。

地域包括支援センターや民生・児童委員の皆様配布するほか、協議会ホームページにも掲載しています。支援者向けのガイドとなっていますので、相談を受ける際にご活用ください。



中野区居住支援協議会事務局（中野区都市基盤部住宅課）

電話：3228-5564 FAX：3228-5668

E-mail：kyojushien@city.tokyo-nakano.lg.jp



協議会ステッカー

協議会 HP



中野区居住支援協議会通信

第15号

第1回事業運営部会を開催しました（令和7年5月27日）



令和7年度第1回事業運営部会を開催しました。

令和7年度の事業計画及びスケジュールの確認を行った後、グループに分かれて「住まいの相談」や「物件探しの苦労話」等のテーマで、意見交換を行いました。どのグループも話が尽きないようでした。最後に部会長から、「今後もグループワークにより、それぞれの立場から悩みを共有できる機会を設けていきたい」とのお話がありました。

不動産住まいの無料相談会を実施しました（令和7年6月17日）



全日中野杉並支部

全日本不動産協会中野杉並支部と中野区居住支援協議会の合同相談会を、中野区役所1階シェアノマにて実施しました。選挙の期日前投票の時期で来庁者が多く、当日は32名の相談がありました。



福祉相談会を実施しました（令和7年7月7日～7月9日）



中野区社会福祉協議会

中野区社会福祉協議会と中野区居住支援協議会の共催で、福祉相談会及びパネル展示を中野区役所1階ナカニワにて、3日間実施しました。

3日間合わせて、40件の相談がありました。

第1回勉強会を実施しました（令和7年7月22日）



写真1：(株)COMPASS 鈴木氏の講演



写真2：事例検討の様子

テーマ「住宅確保要配慮者の賃貸住宅入居の課題について」

ゲスト (株)COMPASS 代表取締役 鈴木 優介 氏

日頃大家さんの経営支援を行っている鈴木氏に、家賃保証会社の役割などについて、初歩的なところから分かりやすくご説明いただきました。親会社である(株)Casa（家賃保証会社、居住支援法人）の取り組みについても実際の事例を交えてご紹介いただきました。

後半のグループワークでは、困難事例についてグループごとに議論を深めました。短い時間の中でしたが、活発な意見交換が行われました。

当日は、事務局職員を含め**25名**の参加がありました。

《参加者の声》 家賃保証のことが細かいところまで理解できた。/それぞれの立場から、どのような支援ができるかを、実際の事例を検討しながら知ることができてよかった。

中野区居住支援協議会事務局（中野区都市基盤部住宅課）

電話：3228-5564 FAX：3228-5668

E-mail：kyojushien@city.tokyo-nakano.lg.jp



協議会ステッカー 協議会 HP



第2回事業運営部会&第2回勉強会を開催しました（令和7年10月10日）

令和7年度第2回事業運営部会及び第2回勉強会を、同時に開催しました。



勉強会（後半）の様子



前半の部会では、上半期活動内容の振り返り、下半期活動予定について確認を行ったほか、以下の議題について話し合いました。

- ・今年度主催セミナーの当日運営について
- ・支援者向け「居住支援ガイド」の改訂について
- ・**〈新規〉相談者向け「住み替えガイド」**の作成について



今年度、新規の取り組みとして、相談者向けの「住み替えガイド」の作成を目指し活動しています。相談者が自身の状況や希望条件を整理し、現実的な住み替えを検討できるよう支援するため、情報整理ツールとして活用することを想定しています。進捗や内容については、また協議会通信でお知らせいたします。

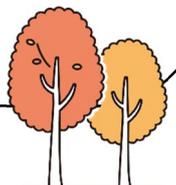
後半は、以下の内容で勉強会を行いました。

テーマ：『中野くらしサポートの役割と住居確保給付金について（生活困窮者自立支援制度）』

講師：健康福祉部生活援護課 自立支援係

生活保護に至る前の方に対する支援として、生活困窮者自立支援制度があります。法改正により、令和7年度から居住支援に関する取り組みを強化している「中野くらしサポート」や住居確保給付金の変更点などについて、部会員でもある生活援護課からお話を伺いました。

住まいに関する相談支援を進めるうえで、それぞれの「住まいの相談窓口」（居住支援協議会の構成団体等）と連携して対応していくことが大切とのお話が印象的でした。その他参加者からは、くらしサポートの役割を知ることができ大変参考になった、との意見が寄せられました。



～特集～ 高齢者等の入居促進につながる**見守り**サービス等の紹介



見守りサービスを活用することで、高齢者等の入居に伴う大家さんのリスク軽減が期待できます。
今回は、住み替え支援にあたり知っておきたい“見守り”のサービスについて、主なものをご紹介します。

あんしんすまいパック

〈ホームネット(株)(区協定締結事業者)〉

見守りの内容

継続的な安否確認

・電話(週2回)

または 電球を用いた毎日の見守り

セットのサービス

死亡時の遺品整理費用・原状回復費用の補償

利用料

あり ※住宅課で加入の際の初期費用を助成

申込先

提携先の不動産店経由で申し込み

あんしんサポート事業

〈中野区社会福祉協議会〉

見守りの内容

定期訪問(3カ月に1回)、あんしん電話(月2回)

セットのサービス

基本)入院バックお届け、ほほえみサービス利用会員登録

オプション)金銭管理・手続き支援サービス、入院時支援サービス、家事援助・介護援助サービス、緊急連絡先(賃貸アパート契約時、入院時)の登録等

利用料

あり

利用相談先

中野区社会福祉協議会 あんしんサポート事業
03-5380-1995

緊急通報システム

〈地域包括ケア推進課〉

見守りの内容

・見守りセンサー(一定時間動きがないと自動発報)

・火災センサー(煙を感知したとき自動発報)

・発報ペンダント(緊急時に本人が押して発報)

→上記いずれかの発報があった場合、事業者からの確認後、出動すると同時に消防署へ出動要請

利用料

あり

利用相談先・申込先

各地域包括支援センター

その他

緊急連絡カード

(救急医療情報キット)

ひとり暮らしの高齢者などが自宅で倒れた場合に、駆け付けた救急隊員が本人の情報を確認し、救急搬送に役立てられるよう、緊急連絡先やかかりつけ医などを記入するものです。

自宅の冷蔵庫などに保管できる専用ボトルと、外出時に携帯できる緊急連絡キーホルダーをセットにして配布しています。

緊急連絡カードの情報は、本人のほか区、民生児童委員、地域包括支援センターで共有します。

【申込先】

区役所 4 階、各区民活動センター 等



(主催) 令和7年度大家さん応援セミナーを開催しました (令和7年11月20日)



会場 中野区役所1階 ナカノバ

大家さん応援セミナー

空室対策の新常識！住まい手の変化から考える賃貸経営

～SUUMO 副編集長が読み解く、
賃貸市場の変化と居住支援のヒント～

講師：株式会社リクルート 佐々木 綾香 氏

東京都住宅政策本部 中倉 樹 氏

まちづくり推進土地建物協議会 司法書士 古賀 匡樹

SUUMO 副編集長の佐々木氏から、中野区の家賃相場や、空室対策のトレンド（高齢者受け入れを含む）のお話、東京都の中倉氏からは、住宅セーフティネット制度（東京ささエール住宅）についてのお話、まちづくり推進土地建物協議会の古賀氏からは、相続に関するお話をうかがいました。当日は大家さんや管理会社の方など多くの不動産関係者を含め48名の方にご参加いただきました。

【アンケート抜粋】

- ・様々なデータを用いた説得力のあるお話が聞けた。
- ・全体的な傾向から、自分の所有物件にもあてはめて対策をする必要を感じた。

日管協フォーラム 2025 にて協議会の取り組みを発表しました (令和7年11月11日)

公益財団法人日本賃貸住宅管理協会主催 (国土交通省後援) の日管協フォーラム 2025 において、中野区居住支援協議会の取り組みや、居住支援の事例について発表させていただきました。日管協の方々とのディスカッションも交えて行いました。当日は、管理会社等不動産関係の方を中心にご参加いただきました。居住支援協議会による発表はあまり例がないとのことで、多くの方に関心を持っていただけたようです。

会場 明治記念館

日管協フォーラム2025

この会場は、第2時限目(13時00分～14時10分)
あんしん居住研究会・安心住生活部会セミナー

高齢者対応

官民連携で単身高齢者の住まい問題の解決を目指す！～中野区の事例～

行政や福祉との連携のヒントがここに！
単身高齢者を取り巻く様々な問題の包括的な解決を目指す中野区の事例から、管理会社や大家、居住支援法人等との横軸連携の必要性とその秘訣

無料不動産相談会を実施しました（令和7年11月11日）



宅建第十ブロック 共催

協議会構成団体である東京都宅地建物取引業協会第十ブロックとの共催で、中野区役所1階ナカノバにて無料不動産相談会を実施しました。

当日は34件（うち居住支援に関わる相談1件）の相談に対応しました。

（共催）任意後見セミナーを開催しました（令和7年12月2日）



中野区社会福祉協議会 共催

任意後見制度の上手な使い方と信頼できる専門職の選び方～「いつか」に備えて自分らしく暮らそう～
講師：弁護士 岡本 圭史 氏（関東法律事務所）

任意後見制度に関する基本のお話から、専門職の選び方などについて、事例を交えて分かりやすくお話いただきました。

当日は46名の方にご参加いただきました。

第3回事業運営部会を開催しました（令和8年1月14日）



令和7年度第3回事業運営部会を開催しました。令和7年度活動の振り返りと令和8年度活動予定について確認を行い、後半はグループごとに来年度のセミナーや勉強会のテーマなどの希望について意見交換を行いました。高齢者以外にも様々な属性の方への支援が求められる中、どのように連携し解決していけるのか、イメージをもてるような内容にしていきたいと思います。

中野区居住支援協議会や構成団体の活動について取り上げていただきました

全国賃貸住宅新聞に
掲載されました！
(12月22日)

名古屋市や福井県の居住支援協議会とともに、中野区居住支援協議会の取り組みについて記事が掲載されました。

【掲載先 URL】

<https://www.zenchin.com/news/post-8944.php>

(途中までお読みいただけます)



SUUMO ジャーナルに
掲載されました！
(9月8日)

中野区精神障害者地域生活支援センター「せせらぎ」の居住サポート事業について、不動産事業者と連携して行う精神障害者の方への入居支援の取り組みが特集されました。

【掲載先 URL】

<https://suumo.jp/journal/2025/09/08/211663/>



LIFULL HOMES
PRESS に
掲載予定です！(3月頃)

1月に、生活保護受給者に対する住まいの支援について、中野区生活援護課と中野区居住支援協議会(事務局)への取材が行われました。

記事は3月頃掲載される予定です。

【参考 LIFULL HOMES PRESS URL】 ※2月現在未掲載

<https://www.homes.co.jp/cont/press/>

中野区居住支援協議会事務局（中野区都市基盤部住宅課）

電話：3228-5564 FAX：3228-5668

E-mail：kyojushien@city.tokyo-nakano.lg.jp



協議会ステッカー



協議会 HP